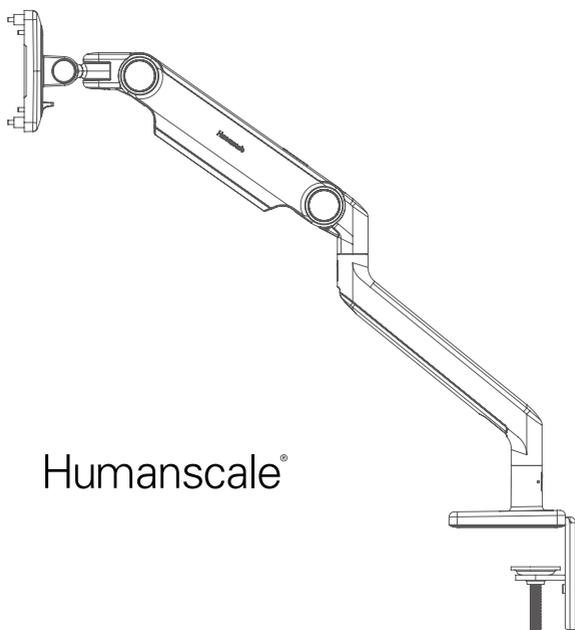


モニターアームM2.1シングルタイプ

XMA-M21C-(B1・P1)



Humanscale®

1. 安全上のご注意

1

2. 未永くご使用いただくためのご注意

4

3. 使いかた

4

4. 配線のしかた

7

5. お手入れのしかた

8

6. 部品の交換について

9

7. 仕様

9

8. 組み立てかた

10

9. モニターの取り付け

14

10. モニターの調整

16

保証について

20

このたびはコクヨ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前に、よくお読みの上、正しくお使いください。

※諸般の事情により、予告なく仕様が変わることがあります。あらかじめご了承ください。

1.安全上のご注意

ここに書かれた注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。いずれも安全にお使いいただくための重要な内容ですから、必ずお守りください。

⚠警告 取り扱いを誤ると、死亡または重傷を負う可能性があります。

⚠注意 取り扱いを誤ると、軽傷を負うかまたは、物的損害が発生する可能性があります。

⚠警告

- 製品を廃棄するときは、焼却しないでください。

有害ガスが発生するなど、周囲に危険をおよぼす原因になります。

製品を廃棄するときは、専門業者に依頼するか、お買い上げの販売店にご連絡ください。

⚠注意

- 健康に影響をおよぼすことが考えられますので、以下の内容を守って使用してください。

- ・ この製品を購入された当初は、化学物質の発散が多いことがありますので、しばらくの間は換気や通風を十分に行ってご使用ください。

- ・ この製品をご使用になる室内が著しく高温多湿(温度28℃、相対湿度50%超が目安)になる場合は、窓を閉め切らないようにするか、強制的に換気を行ってください。

- ・ モニターから50cm以上離れて使用してください。

- 乱暴な取り扱いや、用途以外の使用はしないでください。

けがや故障・破損の原因になります。

- この製品を取り付けるデスクやテーブルが、アームとモニターの重量に、十分耐えられることを確認してから取り付けてください。

変形・破損・落下によるけがのおそれがあります。

1.安全上のご注意

- クランプは、ガラス天板に取り付けないでください。

ガラス天板の破損によるけがの原因になります。

- この製品は、コクヨ製品以外には取り付けないでください。

落下による破損やけがの原因になります。

コクヨ対応製品

- ・ 木製天板 (SEQUENCE・SAIBI・WORKFIT・LEVIST・HARMONii・ブラケッツ・inframe)
- ・ スチール天板 (SENTIR・SAIBI・WorkVista)

上記シリーズ内においても、取り付けできない機種がありますので、詳しくはコクヨ総合カタログに記載している「モニターアーム デスク取付適合表」をご覧ください。

また、その他製品の対応の有無は、担当者にご相談ください。

- 組み立ての際は、取扱説明書に記載している取付金具やボルト以外は使用しないでください。

確実に取り付けられないので、落下や破損によるけがの原因になります。

- 耐荷重 (下表の数値) を超えて、モニターやノートパソコンを取り付けないでください。

モニター 1個:22.5N～68.6N (約2.3kgf～7kgf)	VESA75および100準拠
---------------------------------------	----------------

製品の破損によりモニターが落下して、けがや故障・破損の原因になります。

- 耐荷重の重量範囲内でも曲面 (湾曲) モニターは使用できません。平面パネルモニターに限ります。

- WEBカメラ等の周辺機器をモニターに取り付ける場合、搭載可能モニターの重量の範囲内であっても、重量の偏り等が発生し、モニター取り付け部の上下の傾斜角度や左右の回転角度が保持できないおそれがありますのでご注意ください。

- 設置後、デスクやテーブルの天板からはみ出したマウント部が、人やものの通路側になる向きで取り付けないでください。

アームやマウント部への接触により、けがや破損・故障の原因になります。

- 振動の激しい場所や、連続して振動する場所へは、設置しないでください。

落下によるけがや破損・故障の原因になります。

- 可動部のすき間に手や指を入れないでください。

けがの原因になります。

- 製品の可動範囲を超えて、無理に動かさないでください。

破損によるけがや故障の原因になります。

- アームを動かすときは、ゆっくり行ってください。

勢いよく動かすと、製品の破損やモニターの落下によるけが・故障の原因になります。

1.安全上のご注意

- **モニターの角度調整・高さ調整をするときは、必ずモニターを両手でしっかり持って行ってください。**

アームが急に動いたり、外れたりして、けがや破損のおそれがあります。

- **アームの関節がスムーズに動かないときは、無理に動かさないでください。**

アームで指をはさむけがの原因になります。スムーズに動かないときは、必ず付属の六角レンチで調整してください。

- **使用していないボルト穴や取付穴に指を入れないでください。(特にお子様にご注意ください。)**

けがの原因になります。

- **移設するときは、モニターを取り外してから製品を外し、記載している手順・方法通りに取り付けてください。**

転倒や破損・変形により、けがをするおそれがあります。

- **製品を取り付けたまま、デスクやテーブルを移動させないでください。**

転倒や破損・変形によるけがの原因や、アームやマウント部に接触したものに傷を付ける原因になります。

- **製品をスライドさせて移設しないでください。**

転倒によるけがや破損、デスクやテーブルを傷つける原因になります。

- **可動部に注油しないでください。**

油がたれて床や衣類を汚す原因になります。

- **製品の分解や改造はしないでください。**
けがや破損の原因になります。

- **ボルトやクランプ支柱がゆるんだままで使用しないでください。**

製品の変形・破損や転倒によるけがの原因になります。早めに締め直してください。

- **ガタツキや部品の欠落など、異常を発見したときは、直ちに使用を中止して、お買い上げの販売店にご相談ください。**

そのまま使用していると、製品の転倒や破損により、けがをするおそれがあります。

- **製品に貼ってあるラベルは、絶対にはがさないでください。**

誤った使いかたや事故を防止するためのものです。ラベルがなくなったり、はがれたときは、当社から取り寄せ、正しい位置に貼ってからご使用ください。

- **この製品を他の人が使用するときは、この取扱説明書をよく読んでから使用するようにご指導ください。**

2.未永くご使用いただくためのご注意

- この製品は室内または屋内用です。
屋外での使用や水ぬれは、さびや故障・変色の原因になります。
- 直射日光やストーブなどの熱が直接あたる場所や、湿気・乾燥の著しいところでの使用は避けてください。
さびや変色・変形の原因になります。
- モニターアームを左右に、無理に回さないでください。
製品の破損の原因になります。
- ときどき、ボルトやクランプ支柱のゆるみによるガタツキがないか点検し、ある場合は締め付けてください。

3.使いかた

① モニターの高さ・角度・位置調整のしかた

モニターを両手で持ち、高さ・角度・位置調整を行ってください。

△注意

モニターを回転させるときは、配線コードに十分な余長があることを確認してください。

断線によるショート・感電のおそれがあります。

② モニターが角度調整した位置で止まらない場合の処置のしかた

ほとんどのモニターは、自動的にバランスが取れます。万一、お使いのモニターの角度が垂れ下がったり、左右に止めたい角度で止まらないときは、モニターアームの取り付け部の上下角度調整ねじ、左右角度調整ねじを締め込んで調整してください。

※[⑩ページ「10.モニターの調整」](#)を参照

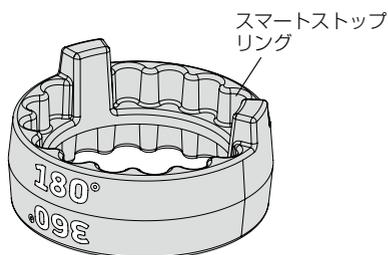
〈ご注意〉

上下角度調整ねじ、左右角度調整ねじの締めすぎにご注意ください。モニターの動きが固くなり、角度調整がしづらくなったり、製品の変形・破損の原因になります。

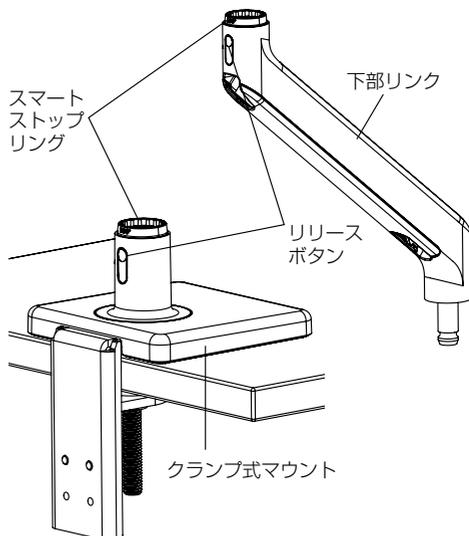
3.使いかた

③スマートストップの調整のしかた

クランプ式マウントおよびアームの下部リンクに取り付けられているスマートストップリングを調整することによって、アームの可動範囲を制限することができます。



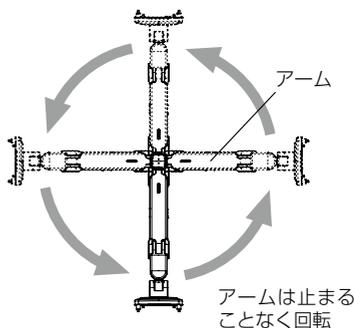
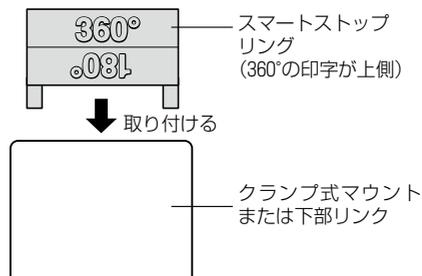
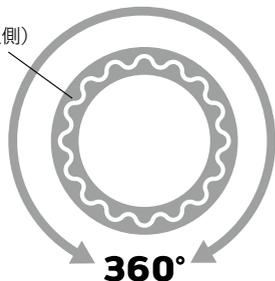
※上図は180°に回転を制限するときの状態です。



〈360°回転可能にするとき〉

工場出荷時の設定では360°回転可能の状態になっています。別の設定から360°回転可能にする場合は、スマートストップリングを取り出し、リング中央に記載されている角度の印字を「360°」が上側になるようにして、元的位置に取り付けて、下部リンク、上部リンクを差し込んでください。

スマートストップ
リング
(360°の印字が上側)

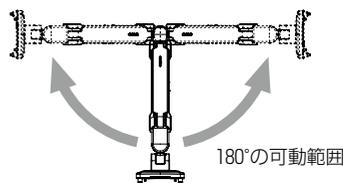
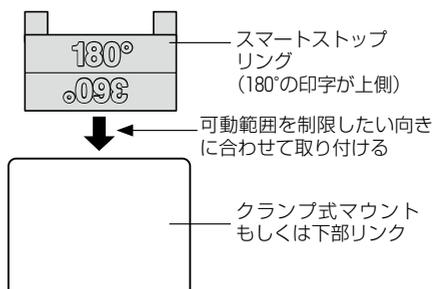
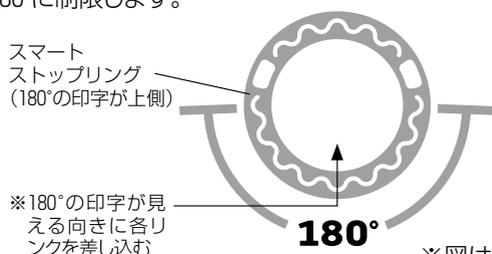


※図は上から見ています。

3. 使いかた

〈180°に回転を制限するとき〉

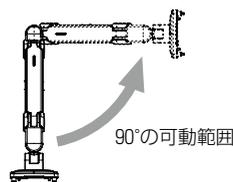
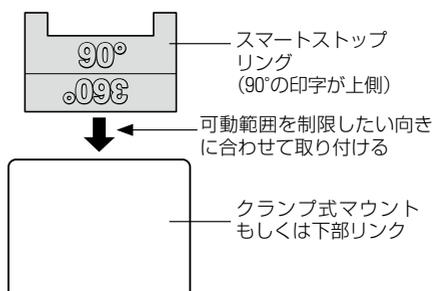
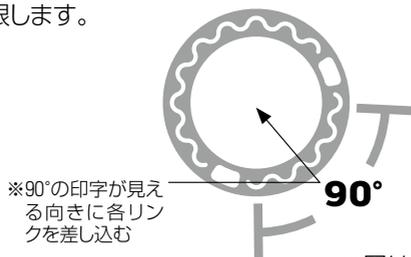
1. スマートストップリングを取り出し、リング中央に記載されている角度の印字を「180°」が上側になるようにして、下図を参考に可動範囲を制限したい向きに合わせて取り付けてください。
2. 「180°」の印字が見える方向に下部リンク、上部リンクを差し込んでください。リング中央の角度の印字を中心として、可動範囲を180°に制限します。



※図は上から見ています。

〈90°に回転を制限するとき〉

1. スマートストップリングを取り出し、リング中央に記載されている角度の印字を「90°」が上側になるようにして、下図を参考に可動範囲を制限したい向きに合わせて取り付けてください。
2. 「90°」の印字が見える方向に下部リンク、上部リンクを差し込んでください。リング中央の角度の印字を中心として、可動範囲を90°に制限します。



※図は上から見ています。

4.配線のしかた

モニターの配線

モニターの配線は以下の要領で行ってください。

1.電源ケーブルとモニター用のケーブルを上部リンクの下側のスリットに通してください。

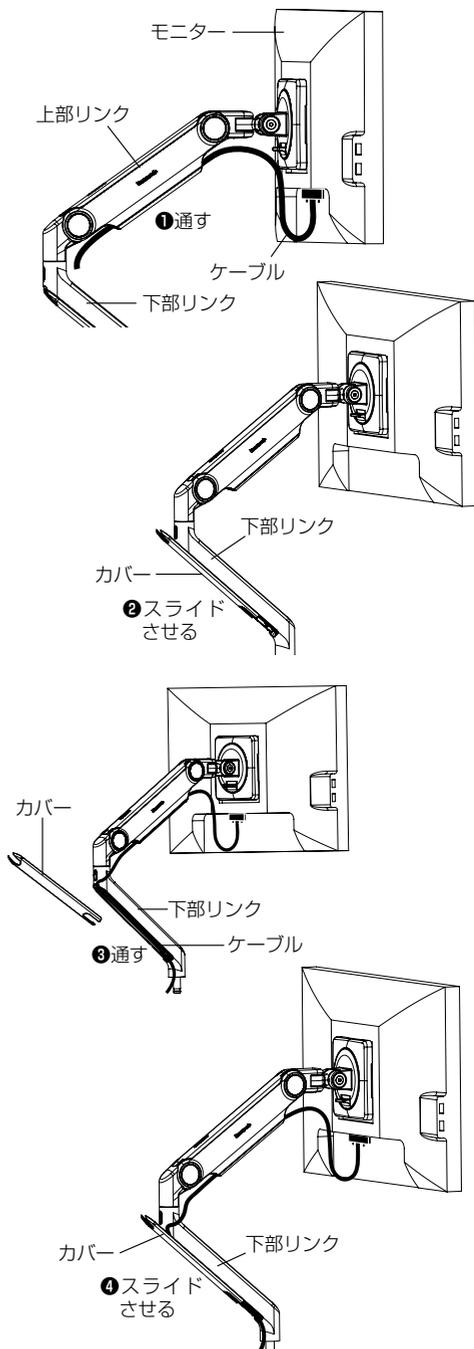
※ケーブルに十分なたるみを持たせて、アームが回転できるようにしてください。

※配線の樹脂カバーは無理に引っ張らないでください。破損の原因になります。

2.下部リンクのカバーをスライドさせて外してください。

3.下部リンクの下側にケーブルを通してください。

4.「2」の逆手順で、カバーを下部リンクの下側に、「カチッ」と音がするまでスライドさせてください。



5.お手入れのしかた

- 日常のお手入れは、乾いたやわらかい布でから拭きしてください。
- 汚れが著しい場合は、以下の手順で汚れを落としてください。
 1. うすめた中性洗剤につけた布を、かたく絞って拭いてください。
 2. 水につけた布をよく絞って、洗剤が残らないように拭いてください。
 3. 乾いたやわらかい布で、水分が残らないように拭き取ってください。

汚れを落とすときの注意

水にぬれたままにしないでください。
また市販の各種クリーナーやワックス、シミ抜きなどを使用される際は、その使用方法や使用上の注意をご理解の上、お客様の判断においてご使用ください。
正しく使用されないと変色や変形など異常の原因になります。

■消毒のしかた

消毒のしかたと注意事項については、下記URL、または二次元コードから詳細をご覧ください。

https://www.kokuyo-furniture.co.jp/manual/pdf/how_to_clean.pdf



6.部品の交換について

部品の交換をご希望の場合は、お買い上げの販売店、またはお客様相談室までお問い合わせください。

△注意

お客様での交換作業はしないでください。
製品の故障・破損の原因になります。

7.仕様

品名		モニターアームM2.1シングルタイプ	
品番		XMA-M21C-(B1・P1)	
寸法 (mm)	ベース	幅	114
		奥行	114
	モニター 取付部	幅	118
		高さ	118
	アーム	最大奥行	568
		最大高さ (取付部中心まで)	445
重量(kg)		2.6	
素材	本体	アルミダイキャスト	
	カバー	ABS	
モニター取り付け/VESA 規格		75mmまたは100mm	

8.組み立てかた

△注意

- 製品の組み立ては、記載している手順・方法通りに行ってください。
誤った手順・方法で組み立てますと、けがや破損のおそれがあります。
- 組み立て作業をするときは、指などを挟まないように注意してください。
けがをするおそれがあります。

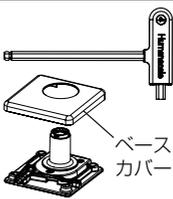
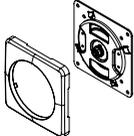
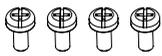
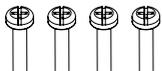
〈ご注意〉

電動工具を使ったり、無理な力を加えたりしないでください。

破損・変形する原因になります。

1 構成部品

組み立てる前に、部品の数を確認してください。

部品の種類		個数	部品の種類		個数
	クランプ式 マウント	1		六角レンチ (対辺4mm) ※六角レンチ(対 辺4mm)はプラス チック製のベース カバーの下に収納 されています。	1
	VESAブラケット	1		アーム 上部リンク	1
	プラスチック スペーサー	4		アーム 下部リンク	1
	標準VESA ブラケットねじ M4×7	4			
	拡張VESA ブラケットねじ M4×17	4			

8.組み立てかた

② クランプ式マウントの取り付け

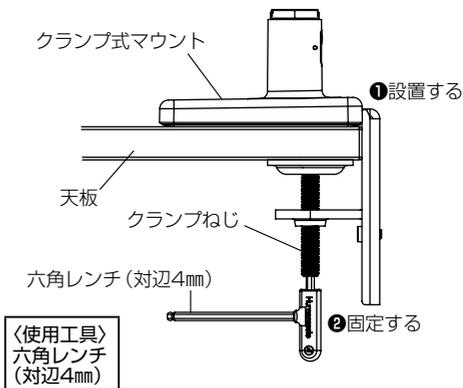
〈天板の端に取り付ける場合〉

1. デスクまたはテーブル天板に、クランプ式マウントをいっぱいまで押し当てて設置してください。

2. クランプねじをねじ込んで固定してください。

※このときマウントのベースに付属してある六角レンチ（対辺4mm）を使用してください。

使用後は、元のベース内に戻してください。

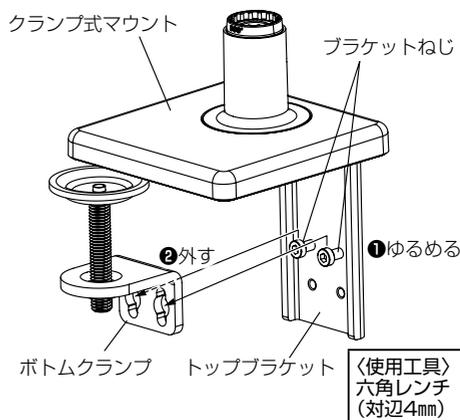


8.組み立てかた

〈ボトムクランプが付いたままでは取付が困難な場合〉

1. クランプ式マウントのブラケットねじをゆるめ、トップブラケットからボトムクランプを取り外してください。

※このときマウントのベースに付属してある六角レンチ(対辺4mm)を使用してください。



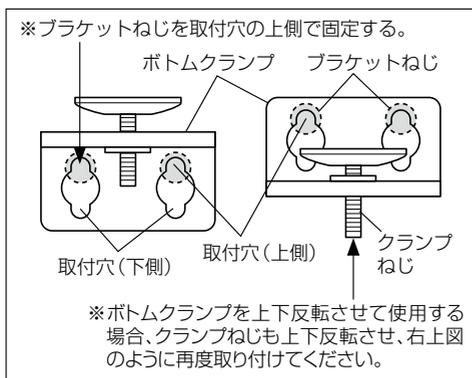
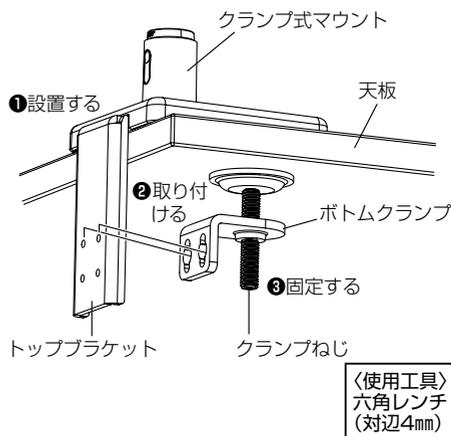
2. デスクまたはテーブル天板にトップブラケットを、いっぱいまで押し当てて設置してください。

3. 「1」の逆手順で、取り外したボトムクランプをトップブラケットに取り付けてください。

〈ご注意〉

天板厚が35mm以上の場合、ボトムクランプを上下反転させてください。

※このときブラケットねじを、必ずボトムクランプの取付穴の上側で固定するように取り付けてください。



4. マウントのベースに付属してある六角レンチ(対辺4mm)でクランプねじをねじ込んで固定してください。六角レンチ使用後は、元のベース内に戻してください。

※クランプ式マウントは、M2.1を垂直面に取り付けることはできません。

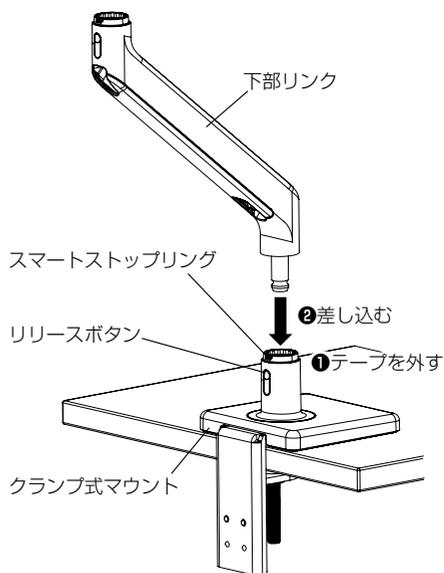
8.組み立てかた

③ アームの取り付け

1. クランプ式マウントのスマートストップリングを固定しているテープを取り外してください。

2. アームの下部リンクをクランプ式マウントに差し込んでください。

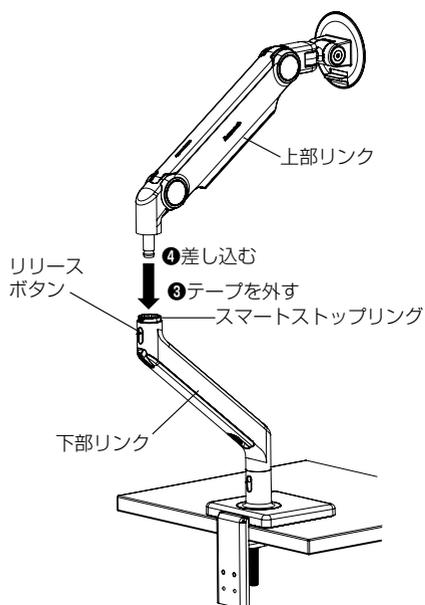
※このときクランプ式マウントのリリースボタンが、確実にロックするのを確認してください。



3. 下部リンクのスマートストップリングを固定しているテープを取り外してください。

4. アームの上部リンクを下部リンクに差し込んでください。

※このとき下部リンクのリリースボタンが確実にロックするまで挿入してください。



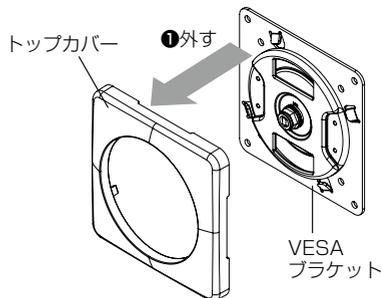
〈アームの取り外しかた〉

取り外す際は、それぞれのリリースボタンを押しながら、リンクを上へ引き抜いてください。

9. モニターの取り付け (設置時の配線業者様向け および お客様によるご使用時の調整のしかた)

① VESAブラケットの取り付け

1. VESAブラケットのトップカバーを外してください。

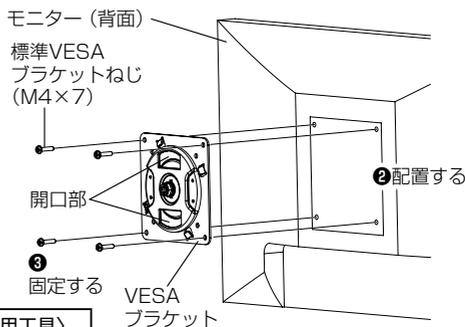


2. VESAブラケットを、2か所の開口部が垂直方向になる向きでモニターの背面に配置し、標準VESAブラケットねじで固定してください。

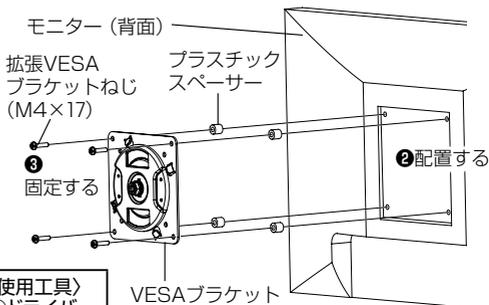
※VESAブラケットは75mmまたは100mmのパターンに対応しています。ボルトはモニターに付属しているボルトも使用できます。

〈ご注意〉

- VESAブラケットの取り付け位置がモニターに届かない場合、プラスチックスペーサーをVESAブラケットとモニターの間に、拡張VESAブラケットねじを使用して取り付けてください。
- 使用しなかったネジやスペーサーは、お客様にお渡し下さい。

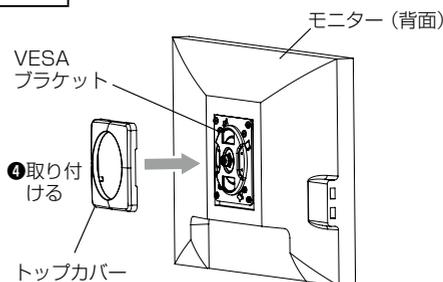


〈使用工具〉
⊕ドライバー (NO.2)



〈使用工具〉
⊕ドライバー (NO.2)

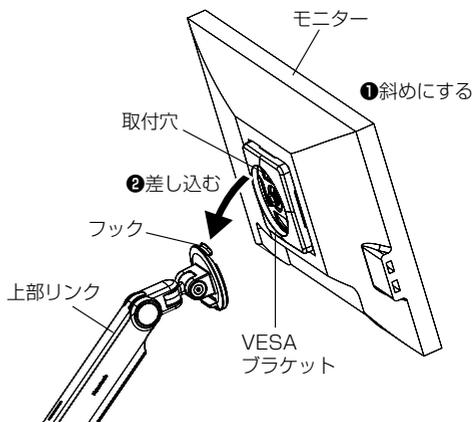
3. 「1」で取り外したVESAブラケットのトップカバーを取り付けてください。



② モニターの取り付け

1. モニターアームのフックを、VESAブラケットの取付穴に差し込んでください。

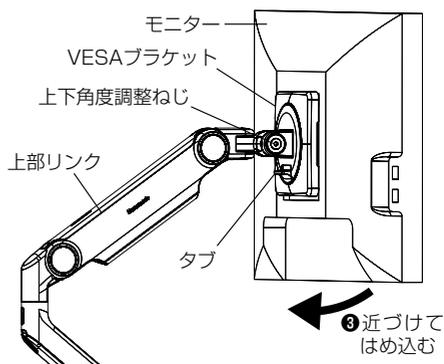
※このとき図のように、モニターを斜めにして行ってください。



2. 「1」で斜めにしたモニターの下部をモニターアームに近づけながら、モニターアームのタブが、所定の位置に「カチッ」と収まるようにはめ込んでください。

〈モニターの取り外しかた〉

タブをもち上げ、モニターの底部を支えながら、VESAブラケットをフックから外してください。



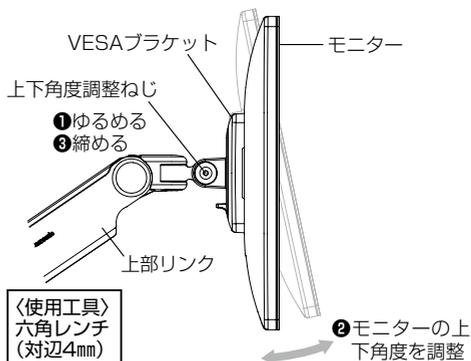
10. モニターの調整 (設置時の配線業者様向け および お客様によるご使用時の調整のしかた)

① モニターの角度調整

〈モニターの上下角度調整のしかた〉

モニターの上下角度の調整が必要な場合は、マウントのベース内に付属してある六角レンチ(対辺4mm、⑩ページ①参照)で上下角度調整ねじをゆるめ、モニターの上下角度を調整し、上下角度調整ねじを締めてください。

※六角レンチ使用後は元のベース内に戻してください。



確認! 上下角度調整がしづらい場合

最初にご使用になる時や、長期間使用しなかった時は、モニターアームの取り付け部の動きが固くなっていて、上下角度の調整がしづらくなることがあります。

その場合は、以下の手順で調整してください。

1. 上下角度調整ねじをゆるめてください。

※ゆるめかたは上記の〈モニターの上下角度調整のしかた〉をご参照ください。

2. モニターの上下を両手で持ち、まずは上方向に向けて動かしてください。

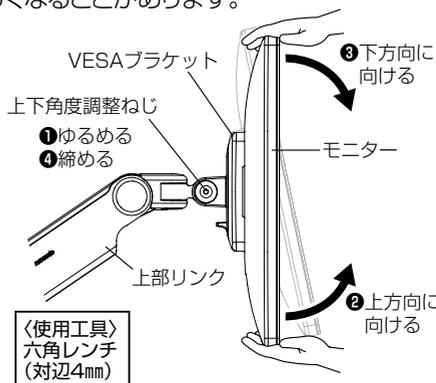
このときに、「バキッ」という音がすることがあります。

3. モニターの上下を両手で持ったまま、下方向に向けて動かしてください。

上方向に向けて動かす、下方向に向けて動かすという動作を何度か繰り返すことでスムーズに動くようになります。

4. 最後に上下角度調整ねじを締めてください。

※ゆるめかたは上記の〈モニターの上下角度調整のしかた〉をご参照ください。



〈ご注意〉

● モニターの上下角度調整をする時は、必ずモニターの上下を両手で持って行ってください。

モニターの左右を持って上下角度調整を行うと製品の変形・破損の原因になります。

● 上下角度調整ねじの締めすぎにご注意ください。

モニターの動きが固くなり、角度調整がしづらくなったり製品の変形・破損の原因になります。

10. モニターの調整 (設置時の配線業者様向け および お客様によるご使用時の調整のしかた)

〈モニターの左右角度調整のしかた〉

モニターの左右角度の調整が必要な場合は、マウントのベース内に付属してある六角レンチ (対辺4mm、⑩ページ①参照) で左右角度調整ねじをゆるめ、モニターの角度を調整し、左右角度調整ねじを締めてください。

※六角レンチ使用後は元のベース内に戻してください。

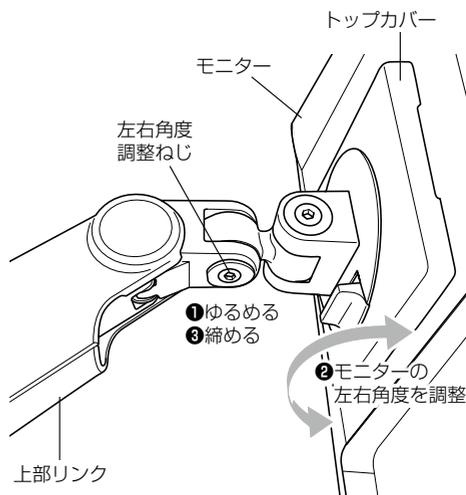
⚠注意

角度調整ねじを締めすぎないでください。

ねじ頭またはねじ山が損傷したり、製品が変形・破損するおそれがあります。

確認!

モニター取り付け後、モニター角度を調整し、片手でも容易に上下・左右に動くような場合は、一旦モニターを取り外した状態で、上下角度調整ねじと左右角度調整ねじを締め付けてください。締め付け終了後、再度モニターを取り付けてください。



〈使用工具〉
六角レンチ
(対辺4mm)

※図はモニターアームの下側から
見えています。

以上で、組み立ては完了です。ガタツキがないか確認してください。

② アームの調整のしかた

上部リンクは、調整すれば上下に動かして、任意の位置で止めることができるようになります。この機能がスムーズに作動しない場合は、以下の要領で調整してください。

〈ご注意〉

7kgを超えるモニターは取り付けられません。

1. 上部リンクを最も低い位置まで (調整ねじが全部見えるまで) 下に押ししてください。
2. 調整ねじを、マウントのベース内に付属してある六角レンチ (対辺4mm、⑩ページ①参照) で調整してください。モニターが重いときは時計回り (+方向) に回し、モニターが軽いときは反時計回り (-方向) に回してください。

⚠注意

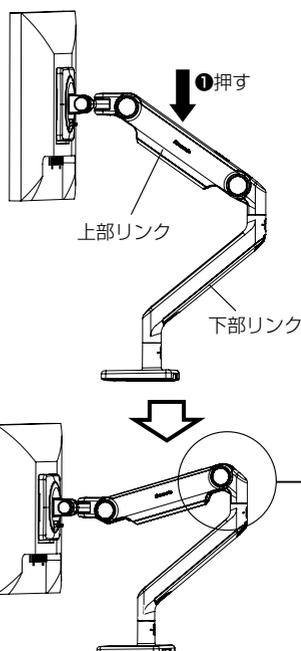
- 上部リンクは最も低い位置まで下げてください。

六角レンチでモニターアームが損傷するおそれがあります。

- 調整ねじを締めすぎないでください。
ねじ頭またはねじ山が損傷するおそれがあります。

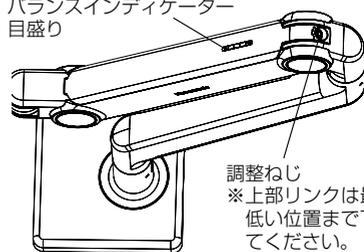
- モニターアームを動かす前に、六角レンチ (対辺4mm) を取り外して下さい。

調整ねじが損傷するおそれがあります。



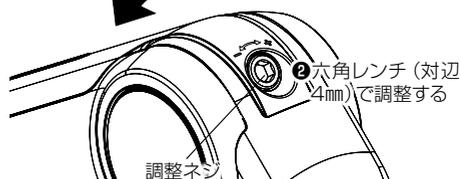
※図は上から見ています。

バランスインディケーター
目盛り



調整ねじ
※上部リンクは最も低い位置まで下げてください。

モニターが軽いときは (-方向) に回す
モニターが重いときは (+方向) に回す



10. モニターの調整 (設置時の配線業者様向け および お客様によるご使用時の調整のしかた)

3. モニターを動かし、アームがスムーズに可動することを確認してください。また必要に応じて、手順「**1**」と「**2**」を繰り返し行って調整してください。

※ 同等重量のモニターを複数のモニターアームに設置する場合、最初に調整したバランスインディケーターの目盛り位置を参考にすると調整が容易にできます。

※ 六角レンチ使用後は、元のベース内に戻してください。

■保証について

〈保証内容のご確認とお願い〉

●この保証書は、記載内容(無料修理規定)に基づいて、無料修理を行うことをお約束するものです。本書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

保証期間経過後の有償修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお客様相談室までご相談ください。

●無料修理を受けられる場合は、「ご購入明細書」が必要になります。

お買い上げ日と販売店を、「ご購入明細書」にてご確認いただき、大切に保管してください。

※「ご購入明細書」とは、製品の納品時にお客様にお渡しする「納品書兼出荷案内書」・「販売店が発行する納品書(製品明細の記載があるもの)」のことです。

〈保証期間について〉

●保証期間は、一般社団法人日本オフィス家具協会(JOIFA)のガイドラインに準拠し、電気部品を除いて、お買い上げの日から下記の年限とさせていただきます。

1年	外観・表面 仕上げ	塗装および樹脂部品の変色・退色、 レザー・クロスの摩耗。
2年	機構部・ 可動部	引き出し・スライド機構・扉の開閉・ 錠前・昇降機構などの故障。
3年	構造体	強度・構造体にかかわる破損。

※使用頻度としましては、週40時間(週5日として1日8時間)の労働時間を想定しています。

24時間体制の執務、年中無休での業務や、これに準ずる過酷なご使用をされること(消防・警察・鉄道・各業種の監視室・警備室・新聞社・TV局・学生寮・病院等)での使用頻度を前提とした保証期間ではありません。ご理解の程お願い致します。

●電気部品に関しましては、下記の年限とさせていただきます。

1年	電気部品	照明器具、スイッチ、ACアダプタ、 コンセント、モーターなど。
----	------	------------------------------------

お試しの電池は、保証対象外です。

〈無料修理規定〉

1.保証期間中に、取扱説明書・本体貼付ラベルなどの注意書にしたがった正常な使用状態で当社の責任と認められる不具合・故障が発生した場合は、無料修理をさせていただきます。

その際、張り地などの部材交換が必要な場合に本製品と同等の機能部材を使用する場合があります。

また、弊社の判断により製品全体を交換させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

- 2.お買い上げ日から保証期間中に故障が発生した場合は、お買い上げの販売店またはお客様相談室へご相談ください。
- 3.保証期間が過ぎた後や保証が適用されない故障につきましては、有料で修理させていただきます。
- 4.保証期間内でも以下の場合は有料となりますのでご了承ください。

(イ)ご購入明細書のご提示が無い場合

(ロ)ご購入明細書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名の記入がない場合、または字句が書き換えられた場合

(ハ)消耗部品(弊社指定部品)の交換

(ニ)第三者から転売・譲渡を受けた場合

(ホ)火災・水害・塩害・ガス害や地震などの天災地変による故障または破損

(ヘ)使用上の誤りによる故障または破損

(ト)カタログ、取扱説明書に記載の禁止事項もしくはそれに類する操作またはご使用者の故意もしくは重大な過失による故障または破損

(チ)加工・改造・不当な修理による故障または破損

(リ)設置後の落下、衝突や移動によって生じた故障または破損

(ヌ)接続している他の機器に起因した故障または破損

(ル)異常な環境下(高温・多湿・著しい温度変化等)での使用もしくは保管による故障または破損

(ヲ)強い磁気の影響や特殊工具の使用による故障または損傷

(ワ)屋外・温浴施設・プールなどで使用された場合の故障または破損

(カ)経時変化により発生する不具合または塗装面の自然退色

(コ)使用時の手垢埃等の汚れによる仕上げ表面の変化

(ク)使用上の消耗により発生する異音などの現象、変質またはさび・かびの発生

(ケ)外観の傷・へこみ・変形や再現のできない不良

(ク)一般的に品質や機能上、影響のない感応的現象(におい、音鳴りや振動など)

(ツ)日本国外で使用された場合に生じた故障または破損

- 5.ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店またはお客様相談室までご相談ください。
- 6.本書およびご購入明細書は日本国内においてのみ有効です。
- 7.ご購入明細書は再発行致しませんので、大切に保管してください。

コクヨ株式会社

本社オフィス 〒537-8686 大阪市東成区大今里南6丁目1番1号
ホームページURL <https://www.kokuyo.co.jp/>

お問い合わせ、ご相談は

お客様相談室

kokuyo.jp/soudan/

